

# やつおもて

第30号(2021年1月)  
編集発行: 和田公民館  
協力: 公民館運営推進委員  
電話: (45-1918)  
eメール: wada-k@ph-hamada.jp

## ～和田地区いろいろ見て歩く記～



ぺったんこ



ぺったんぺったん



ぺったんこ

明けましておめでとうございます。皆様、どの様に新しい年をお迎えでしょうか？  
『笑う門には福来る』 いつも笑顔で、素敵な1年になります様に願っています(つぬ)

### 【和田地区の歴史コーナー】

和田地区のお寺紹介④です。

つぬです!

#### 【醫王寺・後編】



今福 安楽寺

1867年(慶応3)6月の安楽寺文書によると、今福の安楽寺は1853年(嘉永6)以後、慶応3年当時無住であった福田寺・醫王寺・蔵福庵の三寺庵を兼帯していた。

1868年(明治元)4月16日安楽

寺住職と和田村庄屋連盟の合併報告が出されている。この時、醫王寺にあった本尊薬師三尊その他の仏像什器は安楽寺に移されている。



安楽寺に移された  
醫王寺の仏像

太政官布告によって無壇無住の寺の廃止を命ぜられたのは、明治5年11月7日であるからそれに先行する処置である。

なお、鼠原の資料でみると、廃寺はとりこわすように命ぜられていたのに、この寺の本堂は明治まで残っていた。

当時草葺きで栗材を使ってあったという。平物に彫刻がしてあり、明治になって和田村役場として使われていた。

上和田にあった醫王寺田は龍河京次郎の所有田になっており、また大石谷の奥鍛冶屋という地名の溢に醫王寺小屋の地名があるという。明治9年の「和田村誌」には、「醫王寺は村の南方にあり、福屋氏の菩提寺にして一か寺なりしも、今はただ民家のみ」とある。(旭町誌上巻より抜粋・取材協力 安楽寺)



四季折々多彩な安楽寺の庭園

# やさしさが ひろまる世界 つくろうよ

★続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです★



## ひきこもり エンコウ

中編

前回のお話は、本郷の川には「エンコウが居る」と云われる不思議な淵がある。エンコウがおられんようにと、暇をみては、皆で石を淵に運んではドッポ〜ンドッボンと投げ込んだ。しかし、いくら投げ込んで中々淵は埋まらない…。というところでしたね。さあ、続きをどうぞ！

どうなっているんだ？底無し淵か！ なんぼうなんでも底はあるはずだかのオ。誰か、もぐって、みんか？ しかし誰もそんな気になる者は居無かった。

シゲは、どうだい？ シゲと言われた若者は  
「わしゃあ 一緒になる女がいるケー」  
「そんな噂は、聞いとらんぞ、なあ皆な」  
「嘘じゃなあケー、もしもの事がありゃあ  
あの人泣くケエ〜。」 「あの人だってこの  
やろう、のろけやがって。」 そんなこんなで  
一同は考え込むばかりで結局妙案はです



本郷川にある 淵

のうち、だいたいエンコウが居たって話は本当か？ と云う人もでてきた。  
とにかく、近ずかんようにしよう「君子危うき近よらずだヨ…」という事になった。  
ところが本当はそこにエンコウは住んでいた。深い深いこの淵が気にいって長年、  
一族が住家に使っていたのだ。 後編に続く ( 文・絵 佐々岡健次 )

11月8日(日)防災自治課の藤田國夫専門企画員を招き和田地区自主防災会・地域の皆さんと一緒に避難時におけるパーテーション・ダンボールベット作りを行いました。新型コロナの中、他の人に移さない為に、今 私達が出来た事は何か？を考えるととても貴重な体験でした。

ウィムセット家の 旅行



皆さま、あけましておめでとうございます。2021年もどうぞよろしくお願ひいたします。さて、昨年の11月、久しぶりに2泊3日の家族旅行をいたしましたので



その様子をお伝えします。テネシーは、横に広く、東と西では1時間の時差があるほどの大きな州です。今回は、東部地方にあるゲテリンバーグという自然豊かな街へ遊びに行きました。こちらでは、リフトへ乗り高い山間部まで行き、探索をしたり、水族館ではペンギンやサメを観察したり、グラウンドゴルフで体を動かしたりもしました。また、ペット

を連れて入ることのできるショッピングモール兼、遊園地へ行き、私たちが楽しんだのはもちろん、犬のブルーもたくさんお客さんになでてもらい、ご満悦な様子でした。夜はもちろん、ペットと一緒に泊まれるホテルにて快適に過ごしましたよー。

まだまだコロナの影響もあり、観光地は人が少ないのか？と思いきや、実際はびっくりするくらいの人で街は大変混雑しており、どこのレストランも長蛇の列でした。



犬のブルーもご満悦

私たちは、マスクや頻繁な手洗い、食事はホテルの部屋へ持ち帰るなどで十分気をつけて行動するようにしましたが、やはり心配はありました。結局、誰もコロナに感染することなく、今も家族皆、元気に過ごしています。そして、なによりもこの旅は私たち家族にとって、良いリフレッシュになりました。



皆、笑顔♪久しぶりの家族旅行

ちなみに、私の働く病院では、12月からコロナのワクチンが接種できることに決まりました。これは、前に進むための非常に嬉しい大きな一歩です。今年こそは、何の感染症のことも心配することなく、マスクなしでおもいきり旅行を楽しむことができますように・・・と

心から願ってやみません。どうぞ、皆さまもお身体には気をつけてくださいね～！

(文・写真 教子ウィムセット)

# 西田秋枝さん

# 表彰おめでとうございます！



島根県で行われている、80歳で20本の歯を保とう「8020（ハチマルニイマル）運動」の普及啓発を目的として実施された「8020 良い歯のコンクール」において西田秋枝さん（和田）が応募者118名の中から、優秀賞で表彰されました。現在の歯数は31本です。西田さんは、歯の健康を考え、月に1度歯医者に通われているそうです。『元気な歯』の秘訣ですね！

## ～ 新年にあたり ～



明けましておめでとうございます。

平素は、公民館活動に格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。旧年中は新型コロナが発生し、収束することもなく新年を迎えることとなり予定していた行事も、中止を余儀なくされ皆様にはご迷惑をおかけしました。今年度より、新しくコミュニティセンターとして発足することになりました。職員一同 地区民の集いの場となるよう、頑張りたいと考えますので、ご協力の程お願い申し上げます、皆様方の益々の御健勝をお祈りいたします。

和田公民館 館長 早田末男



次は

## ～つぬちゃんのこんなのやりましたコーナー～



11月22日（日）ハンドメイド Ririka の 畑岡律香先生を講師にお招きし、『しめ縄アート教室』を行いました。しめ縄というとお正月のイメージがありますが、畑岡先生のしめ縄は、8月に青刈りした藁の香を楽しみながら、お花やリボン、水引きを添えて華やかに仕上げている、1年中飾れる作品です。

今回、親子で参加した坂根絢星さん（1年生）は「ワラを編む所が大変だったけれど、たくさんの中からお花や水引きを選ぶのが楽しかった」と笑顔で話していました。

